いわき支店
料金別納
郵　便

□□□-□□□□

▶ゆっくり開いてください

POST CARD

山本健一
市議会だより

〒970-8047 いわき市中央台高久2丁目12番地の6
TEL:090-6224-2374 FAX:0246-46-0650
HP www.iwaki-yamaken.org/
Blog ameblo.jp/iwaki-yamaken/
Twitter @iwakiyamaken
Mail k.yamamoto88030@gmail.com

6月定例会 主な可決議案

放射線モニタリング測定器の整備

現在、いわき市では市内13支所で放射線量をモニターしています。

測定密度を濃くするため、306台の可搬型放射線測定器を導入することが決まりました。

また、学校給食で使用する食材や飲料水の放射線量を測定するため、３台のゲルマニウム半導体検出器を配備します。

さらに、学校等の放射線量の低減を目的に、高圧洗浄機を55台導入します。

放射線測定器は、市民への貸与も検討します。

施　設	機　材	台数
小中学校・幼稚園・保育所など	可搬型放射線測定器	304
保健所・水道局	ゲルマニウム半導体検出器	3
小中学校・保育園	高圧洗浄機	55

6月定例会 一般質問

1. 応急仮設住宅について ▶ 2,684戸建設

いわき市内には、2, 684戸の仮設住宅が建設されます。その内、いわき市民を対象とした戸数は189戸で、それ以外の仮設住宅は、双葉郡の避難者を対象として建設されます。

避難住民の多くは、元の住所地に住民票を残したまま仮設住宅に入居することが予想され、いわき市は避難者に対する多くの住民サービスを代行することになります。仮設住宅を取り巻くマネジメントについて質問しました。

本市として、双葉郡の各自治体との連絡体制の強化を図り、仮設住宅の住民と元の住民との交流促進を目的に、地域のイベントや防犯パトロールなどの協働事業を支援するとのことでした。

学校については、原則、仮設住宅の就学児童は、仮設住宅の住所地の学校に就学することになりますが、一部の自治体では、いわき市内の学校に、学校を移転することも検討中です。

ごみの分別については、事前に二次避難所等で説明会を開催し、入居後も随時、適正排出の啓発活動を推進するとのことでした。

市町村	戸数
いわき市	351
広野町	700
楢葉町	863
富岡町	200
大熊町	300
双葉町	250
川内村	20
合　計	2,684

2. 原発事故における緊急時の対応について ▶ 避難計画策定までには至らず

福島第一原発は、不安定な状態が続いています。冷温停止状態とはいえ、より近くに第二原発も存在します。今後、大きな余震や津波が襲ってこないとも限りません。最悪を想定した、いわき市民の避難計画が必要だと思います。

避難計画が存在するかどうか質問したところ、原発事故発生時に、より深刻な事態を想定した対応策を検討したが、避難計画策定までには至っていない、との答弁でした。

避難に際しては、国県と連携することは当然としても、市として主体的に準備しておくことも多いと思います。

もう一つ、今回の事故発生時、市に対し、国県や東電からタイムリーな情報伝達はなく、市はテレビなどの情報で状況判断していたとのことです。この状況は危機管理上問題です。今後は、どのようなチャンネルで緊急時の情報を取得するのか質問しました。

答弁は、電話や衛星回線で、国県と連絡すると、従来の方法を示すだけでした。市職員を県の対策本部に常駐させるなど、連絡体制の強化が望まれます。

裏面もご覧ください▶